

第27期第5回常任理事会議事録

日 時：1993年3月1日

13時45分～17時50分

場 所：気象庁内気象学会事務室

出席者：岩崎、大西、小倉、木田、関口、中井、中村、
新田、松野、村上、以上10名

議 事

1. 第27期第4回常任理事会議事録の確認

一部修正のうえ承認。

2. 各委員会からの報告及び審議

庶務…後援名義使用許可3件報告（第4回計算流体力学シンポ、第25回乱流シンポ、第2回二酸化炭素と海洋の関わりに関する国際ワークショップ）

日本学術会議第16期会員推薦日程（平成5年5月31日：学術研究団体登録申請締切、平成6年1月31日：会員候補者届け出締切等）

会計…1993年1月収支計算報告。

1993年度会費納入は団体会員以外は順調。気象研究ノートの発行数が予定よりも少ないことによる収入・支出の変動以外は、ほぼ予算通りの執行。気象集誌の支出状況に疑問が出され、調査のうえ次回に報告。

天気…2月号の内容及び3月号、4月号、5月号の予定を報告。

集誌…71巻2号の内容の報告（論文8編、短報1編）。

講演企画…2月26日に委員会開催。春季大会へ335件の講演申し込み。前年比15%増で大幅な伸び。大会ではじっくりと議論する時間をとれない。すべての講演を第2種にし、研究連絡会等で交流の場を別に作り、そこで議論を深めてもらう等のことを考えていく必要がある。

教育と普及…IAMAP 93の会期中に一般公開フォーラムを開催することで横浜市等と話し合いがついた。テーマは「地球、そして生命のために——地球の温暖化と砂漠化」で、7月15

日に400人規模の開催を予定。

国際学術交流…1件の追加申請があった。3月12日に委員会を開き審査する。

IAMAP…アブストラクト締め切り。LOCに届いただけで885件。最終的にはもう少し増える。3月中旬に口頭、ポスター等の別を本人に通知予定。募金活動の進捗状況の報告。

パソコン通信…気象集誌の85年以降の論文データベースを整備した。今後もデータベースを拡充していく。

3. 会員の新規加入等について

個人8名の入会を承認、個人7名、団体1の退会の報告。

4. 気象集誌編集委員の交替について

佐藤委員（気象庁数値予報課）の退任、露木（気象庁数値予報課）、川村（防災科技研）両委員の新任を了承。

5. 1993年度事業計画案、予算案について

地方支部開催の夏季大学に、講師旅費として5万円増額。現在5つある研究連絡会への補助を、3万円から5万円に増額すること等を決定。パソコン通信のデータベース強化を事業計画に盛り込む。

6. 理事体制の見直しに関する定款等の改正について

前回常任理事会の議論をもとに、木田理事が文部省と協議した結果に基づき審議。文部省の姿勢からして、定款では「理事は別に定めるところにより総会で選任する」との表現にとどめ、細則で、選挙によって選出される理事候補と、推薦による理事候補の選出の詳細を決めることで合意。その他、細則の細部の表現について議論。

これを受けて、木田理事が再度文部省との協議を行い、改正案を作成して常任理事に文書等で確認したうえで最終案を決定、「天気」3月号に掲載する。定款等の改正は、5月の理事会で承認を得たうえ、総会の審議に掛ける。